

## 父と山と私

ハイキングセミナー事務局長 佐藤達明（ももんが山岳会）

山との出会いは4～5歳の時に父に連れられてハイキングをしていたのではないか。父の趣味であった写真仲間が山仲間、いつも近くの低山を登りに行っていた。元旦は中山寺から清荒神・門戸厄神に歩き初日の出。1月は高見山の山開き、ススキの時期に葛城山、冬は金剛山、たまに六甲…。

中学1年生の時に富士山へ。5合目で頭が痛く、高山病のまま頂上にたどり着く。見る富士山と登る富士山のギャップで2度と登りたくない山となる。やがて高校生になると父に反抗し、山に行かなくなる。

就職してからは春から秋は野球三昧、冬はゲレンデスキーを楽しむ。30才を過ぎたあたりで山に行こうと思うも一人でなかなか行けず、どこかの会に入ろうかと探しながら、気付くと山をやめて20年以上の歳月が過ぎていた。

家庭の事情で別居していた父が2011年に他界し、遺品整理をおこなった。膨大なネガと写真が残され、整理することもできず、今も段ボール箱に入ったまま眠っている。いつしか父の趣味を引き継いでいる自分がここにいる。カメラ、そして山。こんな景色を撮りたいとの思いが、やがて父も山に引き寄せられていったのではないかとあらためて思う。

2013年にH.C.げんごろうに入会し、2014年に21期夏山ハイキングセミナーを受講したことがきっかけで仲間が増え、気の合ったメンバーと登ることが増える。2015年の22期夏山ハイキングセミナーから事務局長を務めさせていただくことになり、毎年新たな受講生を迎え出会いが楽しみになっている。

2016年に22期セミナー生が中心となり会を創ろうとの機運になり、現在所属しているももんが山岳会に移籍する。2017年9月、台風が心配されるもほぼ快晴の中、中房温泉～燕岳～大天井～常念岳～蝶ヶ岳～上高地へと人生初めてテント泊ソロ縦走に旅立った。父になかなか追いつけなかったが、登山だけはやっと父を超すことができた。墓前に笑顔で報告しなければ…。

